

2026年度 事業計画

自 2026年1月1日至 2026年12月31日

1) 2026年度教育セミナーA・Bセッション(E-learning)

がん薬物療法専門医資格取得のために必要な知識の教育を目的とし、がん薬物療法の標準治療に関する講演を通じ、質の高いがん薬物治療を臓器横断的に実践できる医師の育成とがん薬物療法に関する幅広い情報の発信のために実施する。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会
会期 : 2026年1月上旬～12月末日(予定)
会場 : E-learning
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能だが主に医療従事者を想定
募集方法 : 当会ホームページ
参加料 : Aセッション 会員 22,000円 非会員 38,500円
 : Bセッション 会員 11,000円 非会員 27,500円
参加者数 : 700名

2) 第23回日本臨床腫瘍学会学術集会プレスセミナー(ハイブリット)

2026年3月26日～28日に開催される第23回学術集会に先駆けて、主に報道機関関係者を対象に、がん領域のスペシャリストが日本臨床腫瘍学会学術集会のアウトラインや各領域のトピックスについて分かりやすく解説し、報道機関担当者に対してがん薬物治療の最新情報を提供するとともに、当会の活動を広く社会へ開示し、一般市民へ最新のがん治療についての情報発信をするために実施する。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会
会期 : 2026年2月27日(金)15:00～18:00
会場 : AP東京八重洲を拠点とするハイブリット開催
対象者 : 全国紙・通信社・放送・雑誌記者, ジャーナリスト, 厚労省担当
募集方法 : 当会ホームページ, チラシ
参加料 : 無料
参加者数 : 100名

3) 第23回日本臨床腫瘍学会学術集会 (ハイブリット)

がん医療分野に関する幅広い研究内容と最新の技術等を発表する場として学術集会を開催している。学術集会では国内外から多くの専門家を招聘し、がん治療及び研究・技術に関する最先端かつ幅広い情報を発信することにより、日本のがん薬物療法の向上及びがん患者に対するよりよい治療に寄与することを目的として実施する。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会
会期 : 2026年3月26日(木)～28日(土)
会場 : パシフィコ横浜ノース、展示ホールD
会長 : 田村 研治(島根大学医学部附属病院腫瘍内科 先端がん治療センター)
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能
募集方法 : 当会ホームページ, チラシ, ポスター等
参加料 : 会員医師/企業 16,000円, 会員メディカルスタッフ 8,000円, 非会員医師/企業 31,000円,
 : 非会員メディカルスタッフ 10,000円, 患者団体 1,000円
参加者数 : 6,000名

2026年度 事業計画(案)

自 2026年1月1日至 2026年12月31日

4) 日本臨床腫瘍学会市民公開講座

国内のがん薬物療法のエキスパートが、一般市民に対し分かりやすくがん薬物療法に関する最新情報を提供するほか、がん患者や家族との交流を通じて、がん及びがん治療に関する正しい知識を普及するために実施する。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会
会期 : 2026年3月29日(日)13:00~15:30
会場 : はまぎんホール
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能
募集方法 : 当会ホームページ等
参加料 : 無料
参加者数 : 200名

5) Best of ASCO 2026 in Japan (WEB)

ASCO(米国臨床腫瘍学会)年次総会で発表された世界の最新の臨床腫瘍学及びがん治療に関する情報を、国内のがん薬物療法のエキスパートが論評し、参加者を交え討議する教育プログラムであり、本プログラムを通じ、日本の医療技術の向上とともに、がん患者に対するより高度な薬物治療の実践に寄与することを目的として実施する。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会(JSMO), 米国臨床腫瘍学会(ASCO)
会期 : 2026年7月11日(土)~12日(日)
会場 : WEB開催
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能だが主に医療従事者を想定
募集方法 : 当会ホームページ
参加料 : 会員 22,000円 非会員 39,000円
参加者数 : 600名

6) Best of ESMO 2026 On Demand in Japan(WEB)

ESMO(欧州臨床腫瘍学会)年次総会で発表された世界の最新の臨床腫瘍学及びがん治療に関する注目演題を日本語でわかりやすく解説するオンラインプログラムであり、本プログラムを通じ、日本の医療技術の向上とともに、がん患者に対するより高度な薬物治療の実践に寄与することを目的として実施する。

開催回数 : 年1回
主催 : 日本臨床腫瘍学会(JSMO), 欧州臨床腫瘍学会(ESMO)
会期 : 2026年11月~2026年2月末日(予定)
会場 : WEB開催
対象者 : 参加を希望する者なら誰でも参加可能だが主に医療従事者を想定
募集方法 : 当会ホームページ
参加料 : 会員 13,200円 非会員 33,000円
参加者数 : 500名

2026年度 事業計画(案)

自 2026年1月1日至 2026年12月31日

7) がん薬物療法専門医認定に関する事業

専門医によるがん医療の実践により、がんの治療率や生存率の向上を図るため、がん薬物療法に関する豊かな学識と臨床技能を有した医師を「がん薬物療法専門医」として認定している。

- ◆第22回がん薬物療法専門医資格認定試験
申請期間:2026年5月1日(金)~7月31日(金) 試験日:2026年11月14日(土)~15日(日)(予定)
- ◆第17回がん薬物療法専門医資格更新試験
申請期間:2026年5月1日(金)~7月31日(金) 試験日:2026年11月14日(土)(予定)
- ◆指導医・認定研修施設の審査
申請期間:2026年6月1日(月)~8月31日(月)

8) がん薬物療法における必要な知識及びエビデンスの調査事業

がん薬物療法の向上の促進及びがん患者に対するよりよい治療に寄与するため、委員会等にて「がん薬物療法における必要な知識向上とがん治療の実績分析等調査」を実施する。

9) その他短期セミナー事業

がん薬物療法の向上の促進及びがん患者に対するよりよい治療に寄与するため、委員会等にて教育事業を実施する。

10) 要望書等の提出、企業への助言事業

社会状況やがん治療に関連する様々な事項の変化によるがん医療等の停滞を防ぎ、よりよい治療を継続的に実現するために、必要に応じて行政や関係機関に対して要望書等提出・助言等を実施する。

11) 研究助成事業

多くのがん患者に均等均一に質の高い医療を提供するため、専門医養成の格差の問題やがん薬物療法の診療医、医療機関、地域の間で格差がどのような実態で存在するかを明らかにするための調査研究助成事業を実施する。

12) 表彰事業

がん薬物治療等に関する優れた実績を残した研究者を表彰することにより、よりよいがん治療の実現へつなげる研究を推進することを目的とし実施する。